

にこにこ情報



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525 (にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>

メール kikaku@ryokujukai.or.jp

竹とんぼ



撮影：江尻育弘（社会保険労務士江尻事務所）

飛行日誌

家族の崩壊や新しい家族の形などが言われて久しいのですが、今回は、緑樹会の経営理念から、福祉と家族について考えてみたいと思います。

緑樹会の四つの経営理念の中に「幸せ家族のお手伝い」があります。一見、生命保険か銀行のキャッシュコピーを想起される人もいるかもしれませんが。

緑樹会の経営理念の考え方には、可能な限り平易な言葉をつかい、ごく当たり前のことを当たり前にやることをめざしたいということがあります。そうすると、「幸せ家族のお手伝い」も、家族の一員である利用者の方々を通して、その家族が幸せであるためのお手伝いをさせていただく、ということになります。

さて、家族は社会を構成する最小単位であると言われます。それは、社会的な動物である人間の原点(源流)が、家族の中に詰まっているということなんだと思います。例えば、家族の持つ機能の一つに「福祉機能」があるとされています。つまり、家族の中の弱い人を助けることは、喜びであり自己実現でもある、あるいは、弱い家族を守り助けないと、自分自身がいたたまれない、とする親子や肉親の情が基本的には福祉の源流であるとする考えです。

福祉の語源では、「示」ネ「偏」はもと神を現し、「福」は神の恩恵によって豊かになり、「祉」は神がそこに留まることを言うもので、そのことが転じて「福」も「祉」も幸福、幸せを意味するようになったとのこと。

「福祉」幸せの源流が家族にあるとすれば、家族の幸せと個の幸せは、不離一体のもので、それゆえに、もともと家族の中にある福祉機能がうまく働くように支援することが、緑樹会のめざす「幸せ家族のお手伝い」ということになります。

家族を思いやることは、私たちが人として生まれた時から負わされた宿命であると同時に、そこに希望や幸福が宿ることで生きる喜びとなるような気がします。(高度再上昇/富永健)

ひやっ ひやっ ひやひやひやっ
ひやみかちうきり ひやみかちうきり

歌碑「ひやみかち節」 (平成23年3月建立)

独特の旋律と、小気味いい囃子(ふえーし)、そして歌詞に込められたメッセーが愛され、今や沖縄県民の誰もが知る「ひやみかち節」。その歌碑が総合福祉センター緑樹苑の庭にある。歌碑は法人創立30周年、また軽費老人ホーム緑樹苑の第一号入居者である、作曲家・山内盛彬翁生誕百二十年を記念して、平成23年3月に建立された。

歌碑建立の前年、平成22年は沖縄県民にとつて忘れられない年となった。甲子園で春夏連覇を成した興南ナイン。その応援席では連日ひやみかち節が鳴り響いていた。そして奇しくも「我や虎でむぬ 羽つけてたばれ 波路パシフィック 渡てみやびら」の歌詞そのままに、紫紺真紅の両旗が海を渡ったのが平成22年、寅年のことだったのだ。



歌碑建立資金造成公演が行われた二日前に東日本大震災が起きた。会場に急ぎよ設けられた義援金箱には沢山の寄付金が寄せられた。公演では登川誠仁氏ら出演者が被災地に向けて正に「ひやみかちうきり」とエールを送った。

戦争で焼け野原になった沖縄を元気づけて歌い継がれてきたひやみかち節は、時代を超えてメロディは唇に、その思いは胸にしっかりと刻み込まれ、また次の世代へ引き継がれているのである。

音楽家・山内盛彬が妻・ツルとともに入居者第一号として軽老人ホーム緑樹苑にやってきたのは昭和54年4月、翁89歳の時である。「ここ(緑樹苑)を琉球音楽の殿堂にしよう。ピアノを買ってくれ」とのことに当時生活指導員だった金城和昌理事長は困惑したという。その後、弟子や研究者たちが訪ねてくるようになり、また苑の生年祝いや行事の際には王府おもしろを解説し、喉を披露することも度々あったという。

習にじつと耳を傾け、その場で採譜したという。盛彬のこのような逸話は枚挙にいとまがない。琉球古典音楽に対する情熱と、後世伝承の使命感を強くもっていた。晩年もその想いが変わることはなかった。緑樹苑中庭にあるひやみかち節の歌碑に80歳の翁の自筆をかたどった琉歌が刻まれている。

「滅びいく文化 忍で忍ばれめ(り) もち(実費)と命(ヌチ)かけて楽譜(フミ)に遺(ヌク)さ」

「屋嘉節」や「ひやみかち節」の作者として知られていることから、琉球音楽家と語られることの多い盛彬翁ではあるが、実は西洋音楽にも造詣が深い。ヴァイオリンを演奏することもあり、12音階構造の記譜法にも精通していた。その技術が琉球古典音楽を後世へ伝える偉業へと繋がった。音を聴くだけでその音の高さ(音高)を判別する所謂「絶対音感の持ち主」でもあったという。こんな話がある。古譜クエーナを記録したくノ口にお願したところ、男子禁制を理由に断られた。諦めきれない盛彬は蠟燭とノート、鉛床下に潜り込んだ。彼女らの練



昭和54年、入居時の山内盛彬、ツル夫妻。左は金城和昌理事長(当時生活指導員)

緑樹会 山内盛彬 ひやみかち節

国際ひやみかち節コンクール

エイサー風、フォーク調、ロック調、更にはジャズアレンジまで。一つの曲をモチーフにしたバラエティに富んだ演奏に驚かされる。過去二回の「国際ひやみかち節コンクール」では、のべ80組がエントリーし、17組が本選に出場、個性豊かな演奏を披露してきた。9歳から70歳までの年齢層に加え、国際の名の通り外国人グループも出場した。「普段、アレンジをする時は、原曲に対し、どれだけ新しいテイストを加えるか、を考えるんです。原曲との距離感を大事にする。近すぎても、もちろん離れすぎてもいけない。でもひやみかち節の場合、中途半端なアレンジではあの強烈なメロディのインパクトに負けてしまう。逆にどんな奇抜なアレンジをしても、あの旋律にもどれば、一件落着、そんな曲です」と県内外で活躍するあるジャズピアニスは語る。

奇抜なアレンジ―第2回大会ひやみかち大賞に輝いたハイサイ國吉兄弟は正に奇抜だった。第1回大会は兄・大輔が単独で、第2回は兄弟コンビとして参加した國吉兄弟は、黒のスーツ姿に歌舞伎の女方のようなメイクを施し、立ち居振る舞いも「オネエ」。しかし演奏には高等技術を駆使しそのギャップが大いに会場を沸かせた。演奏途中に三線を弟にまかせ、兄は客席まで下りてカチャーシーを披露する。高い演奏技術に



第2回大会ひやみかち大賞のハイサイ國吉兄弟。兄・大輔による演舞は会場を大いにひやみかした。

裏付けされ、かつ、会場を笑いの渦に巻き込んだそのエンタテイメント性が彼らを最高賞・ひやみかち大賞へと導いた。元来ひやみかち節は簡単な曲ではない。弾きこなすにはある程度の技術を要する。そんな曲を涼しげに、時には笑いも交えながら、そして切実なメッセーを込めて―それが「ひやみかち節」が愛され続ける最大の理由ではないだろうか。

「第3回国際ひやみかち節コンクール」の開催は平成27年3月14日。11月1日より出場者募集中。詳しい内容・お問い合わせは緑樹会事務局まで。我こそはと思う方は、是非ひやみかちして欲しい。(金城和郎)

スポーツの秋!! 元気ハツラツ 運動会

ケアハウスていんさくめ花

10月8日(水)、ケアハウスていんさくめ花では、初めての運動会が開催されました。

赤組・白組に分かれて、手渡しゲーム(ボール・トイレットペーパーなど)、玉入れ・パン食い競走など、様々な競技で得点を競いあいました。運動会は大盛り上がりで、皆さん一生懸命、競技を頑張っていました。利用者の皆さんも、「来年もまた頑張りたい」ととても満足そうにおっしゃっていました。(久高政樹)

緑樹苑デイサービスセンター

10月17日(金)、緑樹苑デイサービスセンターでは、利用者らとみどり学童クラブの児童達による合同運動会を開催しました。

会場はにぎやかな声が飛び交い、参加者の皆さんは声を枯らしながら会場を盛り上げ、競技に熱中していました。参加者に合わせた様々なプログラムが用意され、『空き缶立て競争』では、一人一人が集中しながら、空き缶を倒さないように積み立て、「倒れないかな!」とヒヤヒヤ、ドキドキしながら競技に取り組んでいました。

みどり学童の種目では三輪車&パズル競争が行われ、真剣な顔で一生涯懸命頑張っていました。

運動会の結果は、赤組さんの勝利でした。来年は白組さんFight!(宮城佐和子)

ケアハウスはいびすかす

10月17日(金)、ケアハウスはいびすかすで、運動会が開催されました。

35名の入居者が紅組・白組に分かれ、與古田施設長の開会の挨拶でスタート。競技に入る前に参加者全員で運動会の歌を歌い、体操を行いました。

選手宣誓では、入居者を代表して宜保真一様が堂々とした宣誓を見せてくれました。

競技では、ボール渡し、パン喰い競争、玉入れなどのほか、職員による二人三脚が行われました。どの競技も皆さん積極的に参加し、紅組・白組僅差の勝負が続きました。結果は引き分けとなり、今回は、勝敗は付きませんでした。

今年の運動会では表彰式はありませんでしたが、個人的には、負けた時の悔しがる様子や勝った時の嬉しそうな笑顔など多彩な表情を見せてくれた、元山米子様へMVPを送りたいと思います。(祝嶺賢宅)



クラブ活動作品展示

ケアハウスはいびすかす



ケアハウスはいびすかすでは現在、2階フロアのリハビリ室にて入居者の皆さんが制作した作品の展示会を開催しています。

毎年、作品を展示していた福祉まつりが台風の為に中止となり、入居者職員共にとても残念に思っておりましたが、日頃楽しく参加されている書道クラブ・手芸クラブなどのクラブ活動で制作した作品を披露する場を設けようと作品展示会が企画されました。



(崎山京子)

入居者の皆さんもリハビリを兼ねて展示の飾り付けと一緒に、自分の作品を見つけると笑顔を見せ、とても楽しそうにしておられました。どの作品も素晴らしいです。是非、ケアハウスはいびすかすまで足を運んでいただきたい、作品をご覧くださいと思います。

永年勤続功労者を表彰

第57回沖縄県社会福祉大会



10月16日(木)、沖縄コンベンションセンターで、第57回沖縄県社会福祉大会が開催され、県内の社会福祉に関わる個人や事業者、ボランティア団体など多くの人が詰めかけた。

式典では、各関係機関から推薦された社会福祉に多大な貢献をした個人や団体へ、県知事や大会長からの表彰や感謝状が贈られたほか、長年、医療や福祉に関連する施設に従事してきた職員に対する『永年勤続功労表彰』も行われた。

緑樹会からも、ケアハウスはいびすかすの名嘉真和子さん(看護師)が大会に出席し、表彰を受けた。



式典の終わりには大会副会長から大会宣言(案)が読まれ、「明るく住みよい地域社会の実現に向け行動する」と宣言し、会場の拍手をもって採択された。(砂川智規)

緑樹会からの被表彰者は左記のとおり(敬称略)

特別永年勤続功労(25年以上勤続)
ケアハウスはいびすかす
・名嘉真 和子(看護師)

介護老人福祉施設緑樹苑
・高宮城 君代(事務員)

永年勤続功労(15年以上勤続)
介護老人福祉施設緑樹苑
・上原 ノブ子(看護師)
緑樹苑デイサービスセンター
・安里 和美(看護師)

十五夜のお月見、皆既月食を再現

ケアハウスていんさぐめ花～観月会～



10月8日は旧暦の15日にあたり、夕食後、屋上フロアにて観月会を行いました。

始めに、施設長より、「今年は皆既月食と重なり最高の月見会！」とあいさつがあり、続いて皆さんで「月がでたなら」を合唱。すると・・・突然大きなお月様とうさぎさんが登場し、皆さん大盛上がり！続けて地球も登場し月と重なっていき・・・皆既月食！途中飛び入りで安里ヨネ子様がうさぎ役で登場するなど、職員・利用者が一緒になって観月会を楽しみました。

今年はいにくの天気で、本物のお月様は見られなかったですが、「まん丸の大きいお月様が見られて良かった、楽しかった！」と皆様大喜ばれていました。(前川太作)



みどり学童だより



10月17日(金)に行われたデイサービスの運動会に、みどり学童クラブの子ども達も参加しました。

紅組・白組のおじいちゃん、おばあちゃん達に「ガンバレ!!」と旗を振り、応援も競技も頑張っていました。

おじいちゃん、おばあちゃん達との交流をおして、子ども達も楽しんでいるようです。

毎週土曜日は、園外活動の日として、屋外に出て活動しています。公園(特に中城公園)は子ども達に大人気です。

季節の変わり目で、屋外の活動も少し過ぎしやすくなりましたが、子ども達の体調管理には、十分気を配りたいと思います。

(佐久田美佳子)



後援会だより

定例の後援会ふれあいパーティーを9月25日に、いつもと少し雰囲気を変えて緑樹苑食堂を会場に開催。山川料理長が腕をふるったサンマの塩焼きが次々と焼かれ、旬の秋の味覚に舌鼓みをうちながら交流が行われました。

今回の余興は、祝嶺賢宅介(ケアハウスはいびすかす)率いる「EREMENT(エレメント)」によるダンスが披露されました。大ヒット映画「アナと雪の女王」の曲に合わせてロボットダンスが始まり、手足を始め体を自由にありやつり、曲に合わせてポーズを決める姿に会場は大盛り上がりでした。業務ではなかなかみる機会がない職員の仕事以外にキラリ光る姿は、素敵ですね。むしろ、こういう場を持つてこそ仕事により精が出ると言った方がよいかもしれませぬ。職員含めた後援会の皆さまの隠れた技を披露の場ともなる、後援会ふれあいパーティー。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

後援会では随時会員募集中です。(幸喜穂乃)



後援会ふれあいパーティーのご案内

- 日 時:平成26年11月27日(木)18時~19時30分
- 場 所:緑樹苑食堂
- 会 費:1,000円(お食事:バイキング形式)
- スペシャル:獅子舞+ボジョレー解禁ですよ♪

礼楽塾

礼楽塾とは、緑樹会に集う人々が「礼」によって美しく調和し、「楽」によって自らの人生を謳歌することを目的に行われる後援会会員のための活動です。日程が変更になる場合もあります。参加ご希望の方、また新たに活動を始めたい方、こんな活動があったらいいなのアイディアも、ぜひ、事務局までご連絡下さい!(*印は、会場が講師の道場等となります。)

- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| ■三板 | 第2・4(火) | ■王府おもろ* | 第2・4(水) |
| ■御座楽・路次楽* | 毎週(火) | ■応急手当法 | 第2(木) |
| ■島言葉 | 第1・3(水) | ■湛水流三線 | 第3・4(金) |
| ■クエーナ | 第2・4(水) | ■PHP勉強会 | 各施設ごと |

PHPかりゆし友の会

PHPかりゆし友の会は、「素直な心になりましょう」をモットーに、学習会や交流会等を行っています。セミナー開催時に入会受付を行っておりますので、ぜひ、ご参加ください。

(参加ご希望の方は、以下の連絡先へ直接ご連絡下さい)

- 日 時:平成26年11月8日(土) 17時~
- 場 所:総合福祉センター緑樹苑
- テーマ:「PHP誌」輪読と気づき合い
- 連絡先:090-1945-0752(田中)、090-3795-5393(金城)

11月行事

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(土)				映写会	デイサービス交流会・園外活動
2(日)					
3(月)	後援会ピクニック	後援会ピクニック	後援会ピクニック		休園日
4(火)			フラダンス		
5(水)					デイサービス交流会
6(木)	防災訓練	カラオケクラブ	防災訓練	手作りおやつ会・ハンドマッサージ	
7(金)		手芸クラブ		手芸クラブ	
8(土)			家族会清掃		デイサービス交流会・園外活動
9(日)					
10(月)		ミニシアター			デイサービス交流会
11(火)		三板クラブ		苑内交流	
12(水)		防災訓練		映写会	デイサービス交流会
13(木)	遠遊会	書道クラブ	ていんさぐぬ花遠遊会	防災訓練	
14(金)		はいびすかす遠遊会		手芸クラブ・誕生会	
15(土)	老人福祉施設職員研究大会				デイサービス交流会・園外活動
16(日)					
17(月)					デイサービス交流会
18(火)	地域交流グラウンドゴルフ大会	地域交流GG大会・手芸クラブ	地域交流GG大会・フラダンス	地域交流GG大会・手作りおやつ会	
19(水)		カラオケクラブ			デイサービス交流会
20(木)	緑樹会検定試験	緑樹会検定試験・美化活動	お茶会・緑樹会検定試験		
21(金)	誕生会	ミニシアター		遠遊会・手芸クラブ	
22(土)					デイサービス交流会・園外活動
23(日)					
24(月)		お茶クラブ			休園日
25(火)		三板クラブ	おやつ会		
26(水)	防災訓練	防災訓練		防災訓練	デイサービス交流会
27(木)	後援会ふれあいパーティー	散髪・書道クラブ		映写会	
28(金)		誕生会	誕生会	手芸クラブ	
29(土)					デイサービス交流会・園外活動
30(日)					

編集後記

11月1日は、泡盛製造の最盛期だそう
「泡盛の日」として、県酒造組合連合会に
よって1989年に制定されたそうです。
また今年も、同日が旧暦の9月9日にあ
たり、(今年も旧9月が閏月で、本来は先月
でしたが)「重陽の節句」として菊酒を飲む
習慣があります。しかも土曜日!!
今日はこれを言い訳に酒を飲むには
もってこいの日ではないでしょうか!?
さて、どこに行こうか... (砂川智規)

第30回緑樹会記念地域交流
グラウンドゴルフ大会

日時:平成26年11月18日(火)
08:30~15:00

場所:沖縄市陸上競技場

参加費:800円(弁当・飲み物・保険等含む)

参加申込:申込用紙に必要事項を記入
のうえ、緑樹会事務局まで
お申込みください。

お問い合わせ・お申込み

(098) 930-2525

(担当:砂川)

(平成二十六年九月一日~九月三十日)
(物品の部)
ていらぬ会様
平田青果会様



感謝録

温かい御支援御協力下さいまし
た方々に、厚く御礼申し上げます。